

所 報

(2005.8.1～8.31)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	43	16	59
受 贈	52	1	53
合 計	95	17	112

□閲覧サービス

閲覧

開館日数	18日
閲覧人員	34名
貸出図書	29冊

コピーサービス

学外	22件	1401枚
学内	10件	497枚

日 誌

- 1日 OISR.ORGのレッドページ等関係資料を更新
- 3日 見学：船橋晴俊社会学部教授
- 4日 見学・調査（主に国民文化会議資料）：淵辺朋広氏（一橋大学大学院社会学研究科・市民住民運動資料研究会）
共同研究プロジェクト「労務供給の多様化」研究会
テーマ：「医療現場の状況と労働組合の取り組み」
講師：村山正栄氏（日本赤十字労組書記長）
- 24日 見学：王誠博士（北京大学）、罗小宋教授（北京外国语学院） 資本論初版本（クーゲルマン宛マルクス自筆入り）見学
見学・李鐘久教授（韓国聖公教会） 「産業空洞化に対する労働組合の対応」（日本の事例研究）
- 31日 戦後労働運動研究会
テーマ：「各担当時期の収録資料について」
報告者：鈴木玲，早川征一郎，川崎忠文

大原社会問題研究所利用のご案内

【利用できる方】

とくに制限はありません。社会・労働問題に関心のある方ならどなたでもご利用できます。

【開館時間】

〈平日〉9時30分～16時30分 〈土曜〉9時30分～12時

【休館日】

日曜、祝日、年末年始、大学の入学試験日、他に大学の事情により休館することもあります。その都度掲示、ホームページでお知らせします。

【複写】

1枚30円（法政大学教職員・学生は1枚10円）

*ていねいコピーは1枚50円

コンピュータからの所蔵データのプリント：10枚ごとに10円 *貴重書・劣化の激しい図書・製本新聞は複写できません。

【館外貸出し】

法政大学教職員・学生のみ可

専任教員：10冊 3か月以内

その他教職員・大学院生：5冊 3か月以内

学生：3冊 1週間以内

*戦前資料・原資料・事典類・新着雑誌・整理中の図書資料は貸出しいたしません。

*大学院生・学生は最初に利用登録していただきます。

【所蔵資料の出版物への利用】

1点につき3千円です。研究所長宛に内容を明記した「許可願い」を出してください。

*同一内容の場合は2点目以降は千円。

*使用したフィルムは研究所に寄贈してください。

*掲載図書には、当研究所所蔵である旨を明記し、1点を寄贈してください。

【展示会等への所蔵資料の特別貸出し】

目的・資料名を明記した「借用願い」を出してください。

【非来館サービス】

〈文献複写〉上記料金+送料実費で行います。文書・Fax・メール等でお申し込みください。

〈図書の郵送貸出し〉図書館・研究機関を対象に行います。冊数：3冊以内 期間：1か月以内

大原社会問題研究所雑誌 No.565 (2005年12月号)

2005年12月25日発行

定価 1,000円(本体952円),年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 相田利雄

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042 (783) 2307

投稿募集

本誌は社会・労働問題に対する論文、調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投稿規定

1. 投稿原稿は2部とし、ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は、原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には、審査に資するため、600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は、研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には、所定の原稿料をお支払いいたします。

【原稿送付先】

〒194-0298 東京都町田市相原4342
法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論文執筆要領

論文を執筆される場合には、下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には、原則として原稿を返却しませんので、原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には、ある程度の行間を取って下さい。

1 一般的な原則

- ① 横書きとする。
- ② タイトル、氏名の次に簡単な目次をつける。
- ③ 原稿の最後に、執筆者名（ひらがな）、肩書き（所属、職名）を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。
- ④ 注をつける場合には、各章ごとに分割せず、最後に一括し、通し番号をつける。
- ⑤ 図、地図などは、可能な限りトレース済のものを提出する。

2 注記の方式

■日本語の図書・論文の場合

- A. 日本語で書かれた図書については、①著者名、②書名（書名は『 』で囲む）、③出版社名、④発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には、発行年の次に記入する。
- B. 著者が2人の場合には、両者の姓名を書く。3人以上の場合には、「——他」の方式も可とする。
- C. 論文については、①執筆者名、②論文名（「 」で囲む）、③掲載雑誌名（『 』で囲む）、④巻号、⑤発行年月日の順に書く。
- D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

■欧文の図書・論文の場合

- A. 欧文の図書については、①著者名、②書名、③発行地（あるいは出版社名）、④出版年を書く。書名は、イタリックにするので、下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
- B. 論文の掲載雑誌名は、イタリックとする。
- C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
- D. 注の最後は、かならず「.」で止める。

以上